

学校の規模と教員の業務量・運営コストの関係

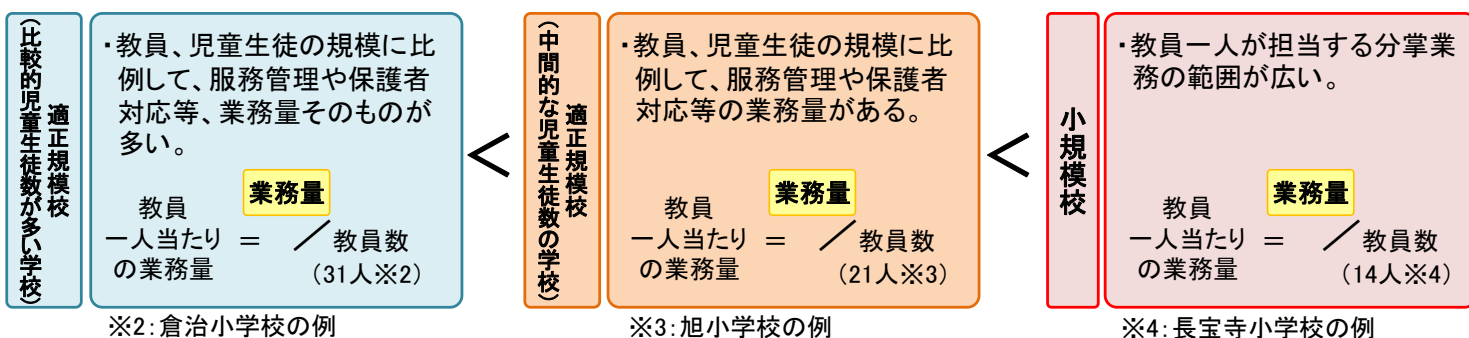
(1) 小規模校と適正規模校との業務量の比較(平成28年度 現在)

①小規模校と適正規模校の職員数・業務量の比較

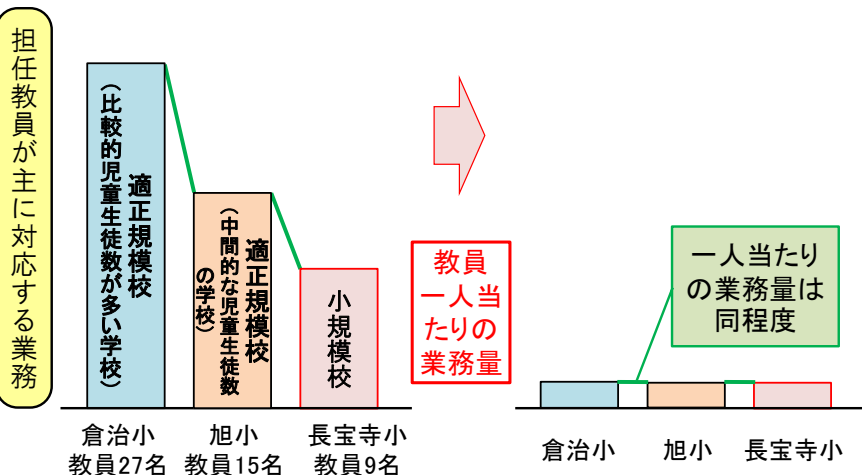
●小規模校(例:長宝寺小学校)と適正規模校(比較的児童生徒数が多い学校例:倉治小学校、中間的な児童生徒数の学校例:旭小学校)を比較すると、児童数の約3.5倍(倉治小学校)と約1.9倍(旭小学校)に対して、教員等の人数は約2.2倍(倉治小学校)と約1.5倍(旭小学校)となっている。

学校名	児童数	学級数 ^{※1}	校長	教頭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	教員数 (教諭+講師)
長宝寺小学校	195	6(3)	1	1	1	0	1	14
倉治小学校	684	22(5)	1	1	1	1	1	31
旭小学校	374	13(2)	1	1	1	0	1	21

※1 ()内の支援学級数は外数



- 教員の主な業務としては、下表(教員の主な業務①②)のような項目が上げられる。
- 業務の項目は、「①担任教員が主に対応する業務」と「②複数の教員で対応できる業務」に分類することができる。

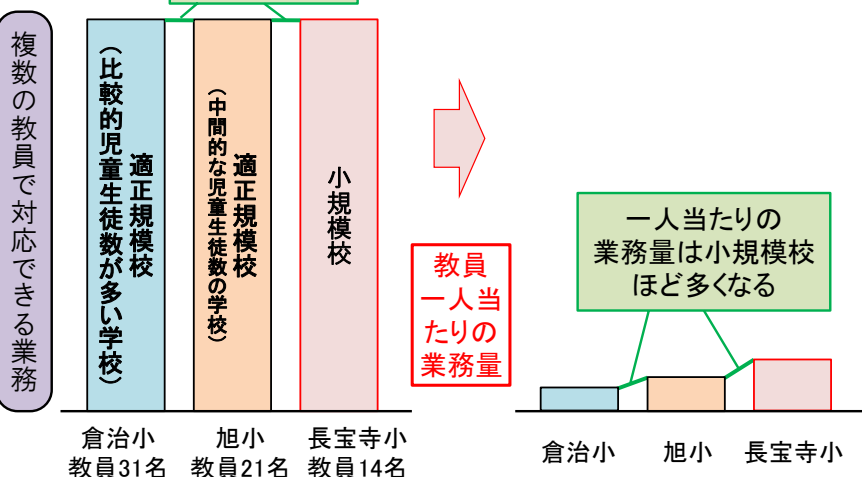


教員の主な業務①

①担任教員が主に対応する業務	
1	成績一覧表・通知表の作成、指導要録の作成
2	教材研究、教材作成、授業(実験・学習)の準備
3	学年・学級通信の作成、掲示物等の作成・掲示
4	宿題、提出物の点検、テストの採点
5	朝学習、朝読書の指導、放課後の指導
6	出欠連絡や保護者からの電話連絡の対応、保護者への連絡(緊急時、周知)
7	清掃指導、教室等の環境整備
8	学期末の成績・統計・評定処理
9	児童・生徒、保護者との教育相談

教員の主な業務②

②複数の教員で対応できる業務	
1	学校行事の事前準備、当日の運営、後片付け
2	登校・下校指導、通学路の点検
3	関係機関への申請・登録、大会申込み
4	児童・生徒の問題行動への対応
5	特別な支援が必要な児童生徒への対応
6	朝の打合せ、学年会議、職員会議、各種委員会等の実施
7	会議のための事前準備、事後処理
8	PTA活動に関する業務(活動への参加、会計・事務処理)
9	保護者・地域からの要望・苦情等の対応
10	国や教育委員会からの調査やアンケートへの対応
11	児童生徒の在籍管理(名簿の作成、出席簿の記入、月末統計)
12	部活動の活動計画の作成【中学校】
13	部活動の技術的な指導、各種大会への引率【中学校】
14	危機管理(不審者、学校侵入への対応)
15	地域との連携に関する業務(地域行事への参加、児童生徒の引率)
16	施設・備品の管理・整備、修繕
17	学校・敷地内の環境整備(清掃・除草など)



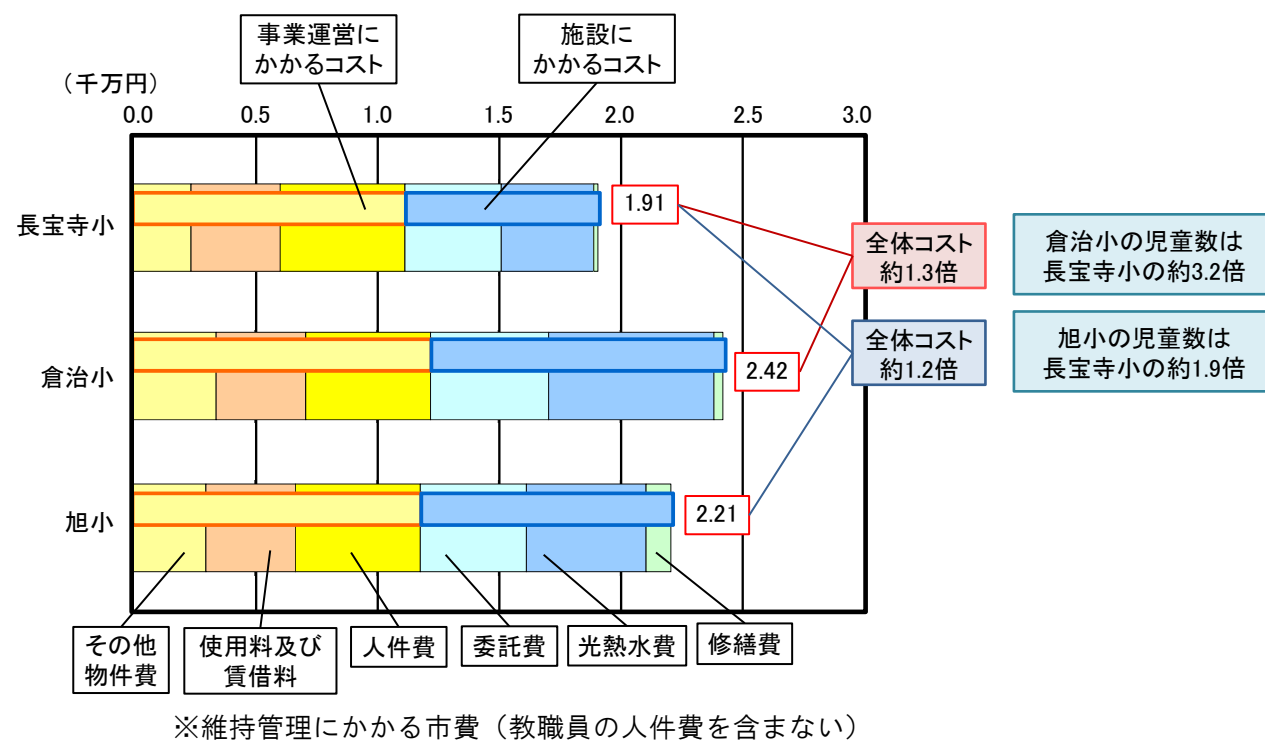
②教員の業務量(範囲)

- 「①担任教員が主に対応する業務」は主に各教員が担任学級の生徒に対する業務であり、各教員の業務量(範囲)は変わらないが、「②複数の教員で対応できる業務」については、教員で分担する業務であり小規模校ほど業務量が多くなることとなる。
- ②のうち、14~17の項目については、民間又は地域への業務委託が可能と考えられる。

○「複数の教員で対応できる業務」については、小規模校の教員ほど分担する業務量が多くなる傾向にあり、教員一人当たりの業務量が多くなる。
 ○教員の業務負担の改善策(軽減策)として、学校規模の適正化および下記の内容のものが考えられる。
 ①ICTの導入 ②事務の共同実施 ③地域人材の活用 ④業務の外部委託など

(2) 小規模校と適正規模校とのコスト比較(平成27年度 現在)

- 年間全体コストについて、小規模校(例:長宝寺小学校 1.91千万円)と適正規模校(比較的児童生徒数が多い学校例:倉治小学校 2.42千万円、中間的な児童生徒数の学校例:旭小学校 2.21千万円)を比較すると、約1.3倍(倉治小学校)と約1.2倍(旭小学校)になっている。
- 児童数では、長宝寺小学校(204人)と倉治小学校(645人)では、約3.2倍となっている。長宝寺小学校と旭小学校(385人)では、約1.9倍。



○コスト面において小規模校と適正規模校(比較的児童生徒数が多い学校)と比較すると、児童数が約3.2倍でも全体コストは約1.3倍となり、小規模校ほど全体コストが割高になる傾向にある。